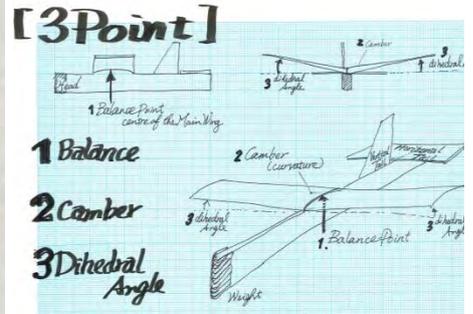


ロボ操作、多国籍で

同志社中 小中学生40人参加

海外の子どもたちとチームを組み、ロボットを動かす時間や正確さを競うコンテストが30日、左京区の同志社中学校であった。日本のほかに韓国、台湾、香港、ベトナムの小中学生約40人が参加。英語でやりとりしながら交流を深めた。コンテストを含む今回のイベントは、簡単なプログラミングの知識をベースに、科学や数学などの関連知識を異文化の子どもたちと学ぶことが狙い。29、30の両日開かれ、日本からは同志社中と鳥取県の青翔開智中学校の生徒が参加した。

大阪府八尾市の教育玩具



想定通りにロボットが球状の障害物(手前左)をどけることができず、思わず声を上げる子どもたち—左京区

メーカー「アーテック」が

協力。同社の「アーテックロボ」でロボット作りに挑戦した。3、4人で班をつくり、自由に組み立てたプログラムで指示を与えて動かす。曲が

り角がいくつも設けられた約1.5mのコースを走行。途中、発泡スチロールでできた障害物をどかしながら、ゴールまでのタイムを競った。

英語がルール。同志社中2年の新庄寅泰くん(13)は「英語は得意じゃないけど、身ぶり手ぶりで意外に通じた。いい作品ができました」と満足そうに話した。(佐藤秀男)

食材などを販売 七不思議マート

綾部、きょうまで

旧正月にフジの花が咲き、ミヨウガやタケノコがその年の作柄を示すなどの「七不思議」が伝わる綾部市志賀郷町で30日、地元の人々がそろえた「七不思議マート」が開かれた。地域住民による「志賀郷地域振興協議会」が主催し、31日にも開かれる。

昨年11月、国の事業の一環として「七不思議マート」を初めて開催し、地元の人や移住者らでにぎわった。終了後、「みんなが集まって会話のできる場がほ



地元の野菜などが並ぶ「七不思議マート」

ASIA STEAM CAMP 2017

朝日新聞に掲載されました

アジアものづくり授業交流プロジェクト、国際STEMプロジェクトの一環として、アーテックと共同で開催したAsiaSTEAM Camp' 17。ロボットプログラミングの教育に力を入れている香港の小中学生、日本からは鳥取の青翔開智中学、韓国、台湾、ベトナム、そして同志社中学校と異国の小中学生が集まりました。進行、説明などすべて英語。ロボット・プログラミング・国際理解など今の教育界の課題にダイレクトに応える取り組みでした。次世代を担う子どもたちの教育に国境を超えて技術科は応援していきます。